

広報

むせんとう

11 7

No.18

発行・編集 / 相双地区電気工事協同組合
編集担当 総務委員会
〒975-0033 福島県原町市高見町2丁目7番地
TEL (0244) 22-1951(代)

第四十回 通常総会 谷津田倫幸理事長再選



本組合の第四十回通常総会が五月二十二日(木)午後三時より第一イン原町会議室において、組合員一〇二名のうち八七名(うち委任状出席一七名)

が出席して開催された。鈴木副理事長の開会宣言に続いて、ご逝去された組合員の霊に出席者全員で黙禱を捧げたのち、平成十年度の各表

彰のご紹介と、永年勤続従業員表彰が行われ、谷津田理事長より受賞者に表彰状と記念品が手渡された。続いて谷津田理事長が挨拶にたち、事業運営のご協力の御礼と事業の成果及び今後の課題等についてお話があった。

議事の審議に入る前に議長長の選出が行われ、議長に

が出席して開催された。鈴木副理事長の開会宣言に続いて、ご逝去された組合員の霊に出席者全員で黙禱を捧げたのち、平成十年度の各表彰のご紹介と、永年勤続従業員表彰が行われ、谷津田理事長より受賞者に表彰状と記念品が手渡された。続いて谷津田理事長が挨拶にたち、事業運営のご協力の御礼と事業の成果及び今後の課題等についてお話があった。議事の審議に入る前に議長長の選出が行われ、議長に

が選任され議事に入った。第一号議案 平成十年度事業報告 第二号議案 平成十年度収支決算並びに剰余金処分(案)承認の件 第三号議案 平成十一年度事業計画(案) 決定の件 第四号議案 平成十一年度収支予算(案) 決定の件 第五号議案 平成十一年度経費賦課金徴収方法決定の件 第六号議案 借入金最高限度額決定の件 第七号議案 取引銀行決定の件について審議され、全て満場異議なく可決決定した。続いて、第八号議案 役員選挙により役員を選出が行われた。開票の結果、新役員が選出され全員就任を承諾した。引き続き新役員により理事会が開催され、理事長に谷津田倫幸氏を再選し、副理事長に

渡辺光夫氏、青田純氏が選任され決定した。以上、全ての議案について審議が終了したので議長が降壇後、渡辺副理事長が閉会の言葉を述べて総会は終了した。総会終了後、別室において懇親会を開催し、新規に加入した組合員の紹介などを行い和やかに親睦を深めた。

総会での
永年勤続表彰受賞者
旭電設工業株式会社
坂脇基伸
合資会社 高木電気商会
遠藤 まち子

◆新役員◆

- 理事長 谷津田倫幸
- 副理事長 渡辺 光夫
- 副理事長 青田 純
- 理事 早川 武邦
- 理事 八巻 正隆
- 理事 横山 久勝
- 理事 林 菊治
- 理事 渡部 昌彦
- 理事 松林 一延
- 監事 鈴木 昭一
- 監事 高木 保信

新役員挨拶



理事長
谷津田 倫 幸

第四十回の通常総会において、組合員一同のご理解とご協力の基に原案どおり満場一致に於いてとどこおりなく、ご承認を賜り盛会に終了致しました事を、衷心より御礼申し上げます。さて、昨年に引き続き巨額の不良債権問題が未解決のままで、日本の銀行、或いは、証券業の不安定な情勢が続いて来た結果、金融不安を増幅させる悪循環を招いて来たのであります。銀行の貸し渋りは、中小企業の資金繰り計画に大きな打撃を与え、景況感を一層悪化させるに至っているところであります。

終わりの見えない金融システムは、崩壊への危機感さえ感じられます。早期に信頼される健全な金融システムを期待するところであります。新

しい競争の時代に、財政構造改革に伴う公共投資予算の削減等一層厳しさを増している経済環境であります。

公共投資は、法人税或いは、所得減税に比べて景気の波及効果は、各種産業の短期的経済効果には即効性として、最も肝要かと考えられる所であります。

又、国際的に討議されている地球温暖化は、企業が厳しく問われている現在、経済成長を維持しながら地球温暖化防止を達成するには、幾多の困難を克服しなければなりません。が何と言っても、二酸化炭素排出を削減する事に依って達成されるものです。

クリーンなエネルギー源の導入が最も必要であります。が、クリーンなエネルギー源は電気であり、大容量の発電は原

子力発電以外にはありません。国民の理解と協力が、最も肝要であります。此れらを踏まえながら、当協同組合は、微力ながら電気工事を通じて二酸化炭素抑制対策に使用電力の負荷平均化による電気の効率化或いは、省エネ型の工事に取組み、社会に少しでも貢献しながら役立つ事を計画しているところであります。又、日常の生活に欠かす事の出来ない電気であり、が、当然の様に使用している電気設備は、古くなれば劣化等による設備のトラブル等で、停電感電、或いは、漏電による火災の発生の恐れもある事が一般的には認識がなく、電気設備の保安管理の問題等が浮上されて来ます。今回の電気事業法の改正による一般電気工作物は自主保安管理が強調されている今日、当協同組合の保守管理業務は極めて、重要性を認識し円滑な推進を図っている所であります。

念される所でもあります。一歩間違えば大災害事故が発生される恐れがあります。此の様な事故を、顕著に受け留めながら作業現場での安全意識を高め、労働災害と第三者災害事故防止に全力を挙げて取り組むと共に、職長教育の重要性を改めて痛感するところであります。本年は、重点事業として労働災害防止活動への積極的な安全教育指導を展開して参る所存であります。

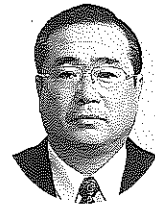
又、東北電力㈱の事業活動への協力、更には高齢化時代に備えた企業福祉に対する関心が、益々高まる中で企業による事業主、或いは、従業員の老後の保障制度は信頼のある企業作りには欠かせない重要な制度として定着して参りましたが、勤労者の生活水準上昇の多様化が見られる中で、一層の手厚い保障が求められて来ております。当協同組合は国民年金基金、或いは、厚生年金基金等を組合員の老後の保障制度をより確かな制度として、加入の促進を図っておるところであります。新しい競争の時代を迎え

しい経済環境の中で、本年度の重点事業等継承の基本を踏まえ自助努力により技術と経営に優れた企業として活躍できる条件を備える事が大きな課題と考えており、適正なコスト意識に基づいた競争と透明性を確保し、真の顧客のニーズに応える事が第一と思うところであります。又、極めて厳しい経済環境での生き残りする為には、組合員一同が、切磋琢磨して技術の研摩や経営の効率化を達成し、社会資本整備の担い手として活躍の促進を図って参らなければならぬと思われまします。此のようない状況を打開する為には、古い体質を改善しながら経営力、或いは、施工力の強化の為の企業連携、更には、協業化等の業界構造の再編を真剣に考える時に来たと言えます。

私共、電気工事業界は組合員相互扶助の精神に基づいて団結を一層密にしながら、経営環境問題へ取り組んで参る所存であります。

組合員の皆様には、尚一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新役員紹介

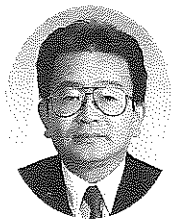


副理事長
渡辺 光夫

組合員皆様方におかれましては、ますますご繁栄のこととお喜び申し上げます。総会におきまして、副理事長をおおせつかり責任の重大さを痛感しているところであります。

理事役員はもとより、皆様方の御協力・御指導をえながら組合発展に尽くしてまいるのでございます。さてジメジメした梅雨時期、梅雨が明ければ暑い夏、食欲の減退をはじめ、睡眠不足、発汗による疲労と作業能率の低下など、心身ともに作業条件が悪く、災害発生の高い時期を迎えます。心身ともに十分気をつけて、「ゼロ災」に常に挑戦して行く姿勢が必要であり、組合員、従業員、一体となり、「ゼロ災害」を達成して参りたいと思えます。景気低迷に

伴う、停滞感からの脱皮と共に、災害のない明るい職場、明るい家庭を築き上げて行きますようお願いを申し上げます。挨拶といたします。



副理事長
青田 純

平成十一年度も早や七月になろうとしております。

新しい組織体制が出来上がり、動き始めました。今年度は、厚生事業委員会と安全対策委員会を担当致します。厚生事業委員会としては、第二種電気工事士や、第一種

電気工事士の資格取得の講習会の実施拡大、その他資格取得のための講習会の実施、特に光りファイバーや工事担任者の資格講習会などがありましてのでこちらも段々と取得しなければならぬと思います。また福利厚生面の国民年金基金や厚生年金基金の加入促進なども重大であります。これら事業を横山久勝委員長と共に推進していきたいと思っております。

理事 早川 武邦



安全対策委員会としては、松林一延委員長とタイアップして木造家屋内での事故の撲滅や第三者損害事故の撲滅等の各種対策を中心に行う様にしたいとおもいます。特に第三者損害事故は相双地区は多発傾向にありますので重点的に取り組んで行きたいと思っております。

何かと不景気な話題が多い年ではありますが、こういう時代だからこそ、各種資格の取得や安全対策を強力に実施してこそお客様のニーズに答えられる業者になれるんだということだと思っておりますので、何卒、皆様の御協力を宜しくお願いいたします。

長びく景気の低迷から一刻も早く回復基調を見出すべくあらゆる分野で可能な限り努力を傾注した昨今でありましたが、景気の状態は一向に変化の兆しが見えないまま二〇〇〇年へと進んで行くのが実感です。

我々電気工事業界を取り巻く環境は大変厳しく本年度は工事受注増加の機運が期待で

きる年ではないように思えます。一方では電気工事業界は昭和63年度の建設業法施工令の改正により電気工事施工管理士制度、また電気工事士法の改正により第一種電気工事士など、資格取得による技術者確保の充実の必要が現実的となり、我々業界のレベルアップが求められるなど電気工事業界は、大きな転換期を迎え

ようとしています。また、これからは新たに競争の時代を迎えるわけですが、この様な経営環境をいかに対処するか新しい経営をどの様にするか求められ、それに向かって行動をしなければならぬわけですね。

企業はまず存続することが社会的に有意義であり、その存在を維持するために経営者は何を成すべきか最大課題と言えるでしょう。今後は、経営者の意識革命と行動革新が必要とされ経営者のリーダーシップの真価が問われる時代になると思います。

総務委員会と致しましても夢のある経営を目指して努力していく所存であります。今後とも一層の御支援御協力をお願い申し上げます。



理事
八 卷 正 隆

先程第四十回相双地区電気
工事協同組合の通常総会が開
催され、議案第一号から第七
号迄多くの組合員出席のもと、
賛成、可決、決定を見、承認
されました。あらためて、感
謝申し上げます。又第八号議
案、役員改選につきましても、
私事大変多くの指示をいただ
き、ただ感謝の念でいっぱい
です。今後二年間組合発展は
もちろん、組合員の為にも、
精一杯頑張る所存でございます
す。さて今年度私の役割りは、
数年前スタートをした組合理
設準備委員会の担当者に配属
され、組合員皆様方の過日の
アンケート調査結果に基づき、
準備検討をさせていただき、
出来る限り前向き・・前進
出来るよう、皆々様組合員の
御意見を拝聴しながら進めて
参りたい所存でございます。
とかく今年度は、非常に厳し
い環境の中、自社の仕事、そ

して組合関係の心遣い何かと
困惑されがちな時世ですが、
どうか深い御理解と組合員一
人一人の財産使用という観点
から、特段の配慮を御願ひ申
し上げたいと思います。なお
今年度の事業計画にごさいま
すが組織の強化及び事業の活
性化、ならびに養成・充実・
整備・改善等、すべてに更な
る力を傾注する事を約束して
結びにさせていただきます。
ありとうございました。



理事
横 山 久 勝

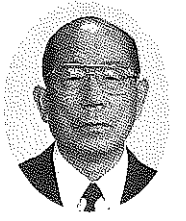
相双地区電気工事協同組合
の理事として、二期目となり
ました。
毎日、組合員の皆様方の役
に立つ事一つでも二つでも
やってみようと言う気持ちだ
けが先行して、なかなか実行
に移せないのであります。

今期は、自分が直面してい
る問題でもある、仕事量のバ
ラッキの改善策に取り組んで
みようと思っております。
今後、地域によって仕事量
に差が出てくると思えます。
例えば、浪江・小高の発電所

建設、双葉の原発7・8号機
増設等がもし現実となれば、
大人数の電工等が必要になっ
てくる所も出てくるでしょう。
また、反対に特に大きな建築
物の予定の無い所では、将来
に向けて大変に大きな不安に
つながっていくものと思いま
す。スポット的に見ても急に
人手が足りなくなったり、人
手が余ったりと言う事は、ど
の事業所でも現実によくある
事だと思えます。
そこで、組合を通じて例え
ばインターネットの様なもの

再び理事に迎えられて、さ
いかに利益の追及にと日夜思
い悩み健全なる経営者でなけ
ればなるまいと、切磋琢磨し
ていると思う。正々堂々と電
気工事業にかかわる者として
の誇りを持ち、社会に奉仕、
地域に貢献出来るようよう協
調精神でありたいと思えます。
私も理事に推薦されてから
は、組織の健全運営と組合員
の方々の益々の発展に惜しみ
ない精一杯の力を使い任期中
は、組合員の方々の代理をまっ
とうしたいと思っております
で何か不都合な事やささやか
な事、不満な事などがあれば
申し付けられれば解決に努力
を惜しまず、頑張っていこう
と張りきっています。
我々業界も不況にめげず、
二十一世紀に向かって大きく
はばたき活躍したいと思っ
ているこの頃です。

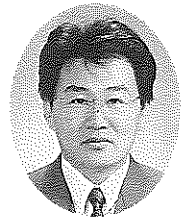
また、組合を通じて例え
ばインターネットの様なもの



理事
林 菊 治

再び理事に迎えられて、さ
いかに利益の追及にと日夜思
い悩み健全なる経営者でなけ
ればなるまいと、切磋琢磨し
ていると思う。正々堂々と電
気工事業にかかわる者として
の誇りを持ち、社会に奉仕、
地域に貢献出来るようよう協
調精神でありたいと思えます。
私も理事に推薦されてから
は、組織の健全運営と組合員
の方々の益々の発展に惜しみ
ない精一杯の力を使い任期中
は、組合員の方々の代理をまっ
とうしたいと思っております
で何か不都合な事やささやか
な事、不満な事などがあれば
申し付けられれば解決に努力
を惜しまず、頑張っていこう
と張りきっています。
我々業界も不況にめげず、
二十一世紀に向かって大きく
はばたき活躍したいと思っ
ているこの頃です。

また、組合を通じて例え
ばインターネットの様なもの



理事
渡部 昌彦

この度、皆様のご推挙を受けまして、当相双地区電気工事協同組合の新役員として、技術経営委員会を任されることとなりました。なにぶん、初めての経験でございますので、いたらない点多々あるかと思いますが、理事長をはじめ、各役員の方々のご指導ご協力をいただきながら、組合員皆様のご期待に添うべく努力いたす所存でございますので、どうかよろしくお願ひいたします。

ご承知の通り電気工事は、電気・情報・保安などの技術を駆使して、建物の中で働き、あるいは居住する人の、快適で健康な環境を提供し、作業効率の向上に重要な役割を果たしています。

また生産現場等では、品質や生産性の向上に大きく貢献すると共に、最近の高度情報化の急速な進展の中にあつて、

商業施設、ホテル、病院、文化施設その他の電気設備に対する社会的なニーズも多様化し、電気工事の役割はますます大きくなって来ています。さらに完成した電気設備は、

このようなニーズを満足すると同時に、保守や運営管理も含めたコストの面でも、施工の期待を満足するものでなければなりません。

このように、電気工事業は対象分野が広く、技術レベルも高度のものが需要であると共に、公共性の高い事業であり、品質や安全の確保、電気保安・建物火災時の対策など

の面から、建設省・通産省・消防庁等の関係省庁で定められた法令等により、設備自体の基準の他に、実際に電気工事の作業や工事施工の管理、設備の維持・点検等に当たる技術者について、一定の技術的な資格要件が要求されています。

このようなことから当委員会としては、今後も保守点検技術者講習会等を実施して、技術の高揚に務めて参る所存でございます。

なにとぞよろしくご協力賜りますようお願い申し上げます。



理事
松林 一延

昨年五十周年事業の記念誌の編集に携わらせていただき

ました。作業の中で先人の偉業に接し、改めて敬意を抱い

たところですが。今回この歴史ある本組合の理事に選出され、二年間仕事をさせていただくことになりました。三十四年の法人設立趣意書にある「相互扶助」「親睦融和」の創立の精神に基づき、現在取り組んでいる事業の推進に努力を

させていただく所存でありませんが、それと同時に、既に三十四年当時の同書の中に「時代の進運に伴い、社会情勢に順応する為」この組合を組織するとあることに注目をした

と考えています。つまり実験として時代の大変換を目の当りにした先輩諸兄は、現在のこの変化の時が到来することを充分に見ていたのではないかと想像するのです。半世紀以上にわたって続けられてきた日本の経済・政治・社会のいずれのシステムも、

今「世界の標準」と共に生きなければならぬという時代の条件の中で、その多くが有効性を失いつつあります。世界とのコスト競争が避けられない今、「全体の成長」から「自由競争」への変化は、す

ぐそこまでやってきています。組合の仕事も「自己責任、自然淘汰の時代を勝ちぬくべく戦う組合員に対して、経営の武器ともなる良質の情報を発信発信すること。そして、これまでの仕事分野の先細りが予想されることから、情報関連・省エネルギー関連など新しい工事分野に対してのデータの蓄積などにも、大きな役割を果たすべきだと考えています。微力ながらもそれらの事業に、誠心取り組んでいくつもりですので、任期中のご指導を宜しくお願ひ申し上げます。



理事会開催

第一回理事会

平成十一年四月十四日(水)
午後四時より、原町通りのゆ
会議室において、理事八名の
出席により開催、次の議題に
より審議した。

第一号議案 第四十回通常
総会議案について

第二号議案 監事会の日程
について

第三号議案 優良従業員表
彰について

第四号議案 その他

第二回理事会

平成十一年五月二十二日(土)
午後一時より、第一イン原町
会議室において、理事九名の
出席により開催、次の議題に
より審議した。

第一号議案 第四十回通常
総会の運営について

第三回理事会

平成十一年五月二十二日(土)
午後一時より、第一イン原町

会議室において、理事九名の
出席により開催、次の議題に
より審議した。

第一号議案 理事長および
副理事長の選任について

第四回理事会

平成十一年六月十六日(水)
午前十時より、組合会議室に
おいて、理事九名の出席によ
り開催、次の議題により審議
した。

第一号議案 各委員会等の
組織編成について

第二号議案 福島県電気工
事工業組合の各委員会の
委員選出について

第三号議案 新規組合員の
加入について

第四号議案 その他

① 火災見舞いについて

② 中小企業人材確保援助事
業について

③ 共同保守技術員講習会講
師について

④ 福島県木造家屋低層住宅
建築工事安全対策委員会
相馬地区協議会について

⑤ 駐車場利用申込について

各委員会委員を選任

平成十一年六月十六日(水)に
開催された第四回理事会にお

いて、各委員会の組織編成を
審議した結果、次の通り各委
員を選任しました。
組合員の皆様には各委員を
二年間担当していただきます
ので、委員会活動を通じ、組
合事業の運営のご協力を賜り
ますよう、お願い申し上げます。

委員会名	総務委員会	技術経営委員会	厚生事業委員会	安全対策委員会	組合事務所建設準備委員会
担当理事	渡 辺	光 夫	青 田	純	
委員長	早川 武邦	渡部 昌彦	横山 久勝	松林 一延	八卷 正隆
副委員長	林 菊治 蒲生 忠七	三品 信一 荒 秀夫	高山 克男 小林 五月	森 保雄 中澤 進	林 菊治
委員	阿部 定雄 村井 洲湖 武山 幸三 吉田 光雄 高橋 豊美 諸井 正人 八卷 英久 篠山 清三 荒 仁一 高野 道安 増田 篤 加藤 忠昭 津田 吉高 菊地 昭一 渡辺 敏郎 田中 隆雄 紺野 広人 秋本 耀司 松本 昭知 谷津 功好 志賀	渡部 昭三 信成 洋志 高田 正雄 大内 剛磨 里見 善光 佐藤 光義 渡辺 高一 目黒 富幸 久米本 幸男 鈴木 清教 山川 和男 谷地 宏文 益子 祐治 佐藤 英四郎 紺野 俊一 迫田 文雄 岩倉 紀男 吉岡 善光 菅原 秀章 菅野 幹夫	西内 晴夫 山田 義巳 太田 善己 富沢 千里 青田 敏信 渡部 武男 桑折 文夫 佐藤 隆男 武山 義信 氏家 紀男 大和田 健一 本間 昌弘 志賀 正 阿部 雅彦 佐藤 勝男 安江 法行 渡辺 貞之 浜名 徳也 小嶋 清 鈴木 輝夫 佐藤 誠治	笠原 義雄 但野 晴美 後藤 俊夫 矢澤 盛彦 栗村 新一 今野 清江 目黒 周志 苅宿 隆巳 小沢 文夫 小丸 武彦 渡辺 勇幸 石井 芳明 中里 正隆 横山 政治 齊藤 英明 嶋山 久雄 河口 優 加藤 忠重 佐々木 英夫 阿部 三芳	渡辺 光夫 青田 武邦 早川 久勝 横山 昌彦 渡部 一延

青年部

平成十一年度
通常総会開催

平成十一年四月十六日組合
会議室において、通常総会を
開催した。
谷津田理事長より「青年部
は独自の立場で、自由な発想
で積極的に活動してほしい。」
と挨拶があり、続いて、早川
青年部長が挨拶にたち、事業
推進の協力について要請をし
議事に入った。

第一号議案 役員規定の制
定について役員の仕事内容を
明確に定義した。
第二号議案 平成十年度事
業報告並びに収支決算報告承
認の件について満場一致で承
認した。
第三号議案 平成十一年度
事業計画並びに予算(案)の
件について各種研修会、親睦
交流のレクリエーションを実
施することを討議した。

主な活動内容

- 三月六日 全日電工連青年部
全国代表者会議出席
- 四月三日 臨時役員会開催
- 四月八日 青年部講習会「イ
ンターネットビジネ
ス講座」実施
- 四月十六日 臨時役員会開催
- 四月二十八日 平成十一年度
通常総会開催
- 六月一日 東北七県代表者会
議
- 六月二十二日 東北七県代表
者移動理事会

青年部 会員名簿

役職名	氏名	会社名
部長	早川 輝彦	早川電気工業(株)
副部長	志賀 秀章	志賀電設
会計	渡辺 啓行	(有)三幸電気工業所
幹事	鈴木 利昭	(有)鈴木電設
幹事	八巻 淳	東光電設(株)
監事	高木 裕己	相双電設(株)
	高木 数泰	高木電気商会
	篠山 俊一	篠山電気商会
	高田 昌弘	高田電機
	高荒 明	光洋電設(株)
	村上 正孝	(有)後藤電設
	但野 俊晴	(有)但野電気工事
	益子 宏文	ときわ電器
	飯山 勝夫	(有)浪江電設
	山田 佳宏	(有)山田電気工事
	富沢 潤一	(株)東京エレクトロ
	島 潤一	島山電気設備工業(株)
	17名	

新規加入組合員

平成十一年七月一日付にて、
理事会承認を得て譲渡加入さ
れました。



表 幹夫
菅野

小倉電気商会

〒九七五-〇〇〇七
原町市南町二丁目六三
(〇二四四)二三一-二五二二

新代表者変更

平成十一年五月二十日付で
代表者を変更しました。



新代表 表 嘉孝
山川

恒栄総合設備株式会社

平成十一年六月十一日付で
代表者が相続により変更しまし
た。



新代表 益子 宏文

ときわ電器

訃報

本組合二代目理事長であ
る旭電設工業株式会社
取締役会長八巻久志様には
平成十一年五月十日ご逝去
されました。

ときわ電器代表益子智喜
様には平成十一年六月十日
ご逝去されました。

謹んで御悔み
申し上げます。

合掌

谷津田倫幸氏

知事表彰受賞

福島県では長年にわたって 工業組合理事、同理事長として 地方自治や教育、納税、交通 安全、スポーツなどの分野で 功績を残した者に各種功労者 知事表彰を行っている。

谷津田電機工事(株)谷津田倫 幸氏(現理事長)は二十二年 余にわたり、福島県電気工事 申し上げます。

中小企業人材確保推進助成事業の 取り組みについて

電気工事業界では、従業員 の高齢化、若年技術者の人材 確保及び定着が課題であり、

業界の安定持続のためには、 魅力ある職場づくりと業界の イメージアップを図る必要が あります。このことから、今 年度より、中小企業人材確保 推進事業に取り組みます。

この事業は、事業協同組合 が雇用管理全般の改善を図る ことにより、職場の魅力を高 めようとする取り組みを行な



新任にあたって

事務局長 櫻井清一

今年の四月から皆さんの組 合にお世話になっております。 全くの異分野からの転身で ありますので、暫くの間は、 ご迷惑をお掛けすることにな るかも知れません。どうぞよ ろしくお願いいたします。

電気、ましてや電気工事に ついての知識はゼロでありま す。 皆さんにお世話になって早 三ヶ月になりますが、まだ専 門用語との戦いです。早く言 葉の意味と内容を理解できる よう勉強しなければと、多少 焦りを感じているところで す。

このことは、電気と電気工 事店がいかに住民生活と密着 しているか、また、欠かすこ とができない存在であるかを 雄弁に物語っていると云った ら過言だろうか。

このことは、電気と電気工 事店がいかに住民生活と密着 しているか、また、欠かすこ とができない存在であるかを 雄弁に物語っていると云った ら過言だろうか。

我が国の制度、仕組みが、 今あらゆる面で問われ、大き な変革期を迎えていると言わ れております。今後益々進む であろう「規制緩和」の渦の 中において、「競争と自己責 任」が問われております。

このことは、中小企業とっ ても真価が問われ、益々厳し いものがあると思われれます。 こうした時だからこそ、今 まで以上に、地域に信頼され、 愛されるための努力が必要で あると同時に「協同組合」の 本旨に則った取り組みは勿論、 組合員の友愛と団結をさらに 強固なものにすることが重要 であるのではと感じていると ころです。

事務局長の立場で、当組合の 発展を願ひ努力してまいらな ければと思っております。 皆さんのご指導よろしくお 願ひいたします。

事務局長の立場で、当組合の 発展を願ひ努力してまいらな ければと思っております。 皆さんのご指導よろしくお 願ひいたします。

